

五輪

交通

関西発

ANA 10月まで搭乗分まで発売中!

東京・大阪 <small>伊丹</small>	8,200円~	東京・福岡	9,800円~
東京・札幌	9,500円~	東京・沖縄	11,400円~

※掲載運賃は、4月12日時点の10/25まで搭乗分までの運賃です。

湯川博士愛用の黒板が阪大に...米大から寄贈

2014年04月30日

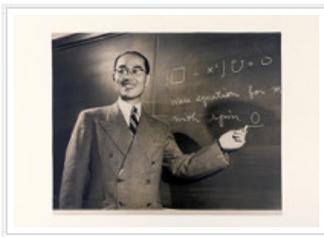
ツイート 10

おすすめ 74

+1 0



コロンビア大で湯川博士が使っていた黒板に数式を書いて議論する学生や橋本教授（左奥）（30日午前、大阪府豊中市の阪大で）=泉祥平撮影



コロンビア大で教鞭を執っていたころの湯川博士（1949年、京都大基礎物理学研究所提供）

日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士が65年前に物理学の研究に使っていた黒板が米国の大学に保存されていることがわかり、湯川博士が戦前に研究していた阪大に寄贈された。5月2、3日の大学創立記念行事「いちよう祭」で一般公開される。

大阪大理学部の橋本幸士教授（素粒子論）によると、黒板（縦1・34メートル、横3・77メートル、約150キログラム）は、約90年前の米国製。湯川博士が、ノーベル物理学賞を受賞した1949年当時在籍していたコロンビア大時代、自らの研究室で愛用し、数式を書き込みながら研究者同士での議論に使っていたという。

湯川博士が帰国後、同じ研究室を引き継いだ教授が使い続けていたが、コロンビア大学の改修工事に伴い、湯川博士が3年から6年間研究していた阪大（当時は大阪帝国大）が今年2月、譲り受け

た。湯川博士は35年、ノーベル賞の受賞対象となった「中間子論」を提唱した。

黒板は、大阪大豊中キャンパス（大阪府豊中市）内の理学研究科H棟7階コミュニケーションスペースに設置され、学生らが自主ゼミで使っているという。橋本教授は「最初は恐る恐るだったが、とても書きやすい黒板で、湯川先生も使っていたと思うと刺激的。新しい発見がどんどん生まれそう」と話す。一般公開も同スペースで行われ、入場無料。

中間子論

湯川秀樹博士が1935年に提唱。原子核を構成する陽子や中性子を結びつけている力は、「中間子」という粒子がやりとりされることで伝わると理論的に予言した。47年に英国の物理学者によってその存在が確認された。

2014年04月30日 Copyright © The Yomiuri Shimbun

ユニハイム中之島
堂島川タワーレジデンス
「中之島」駅徒歩4分 全邸角住戸設計
資料請求受付中 ユニテカエステート

ニュースランキング

30分 24時間

- 1 機長らの会話記録、消失か...ピーチ機異常降下
- 2 学校での座高測定とぎょう虫検査、来年度で廃止
- 3 「日本の水資源が奪われる」...自民・中川議員ら
- 4 最新でも危険、「IE」の使用控えて...米で警告
- 5 放射線検出コンテナ、開封し原因特定...本牧ふ頭
- 6 北陸新幹線に投入のW7系、初の走行試験
- 7 東北新幹線で人身事故、一時運転見合わせ
- 8 優勝後はマスクとだて眼鏡...15歳・勝みなみ
- 9 PTA歓迎会で飲酒の教頭、3台と衝突事故
- 10 ボンベ爆発逮捕の女、近所では「物静かな感じ」



→ 地域

北海道	道景スケッチ
北陸	モレシャン夫妻の北陸記
中部	OS☆U新聞部
関西	鉄の掲示板
九州	鉄道ニュース

北海道	青森	岩手	宮城	秋田
山形	福島	茨城	栃木	群馬
埼玉	千葉	東京23区	東京多摩	神奈川
新潟	富山	石川	福井	山梨
長野	岐阜	静岡	愛知	三重
滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良
和歌山	鳥取	島根	岡山	広島